

不況と戦争の時代（1931～1945）その6

《1934年、丸子橋完成、中原街道と丸子の渡し》

東海道新幹線が多摩川を通過するとき、上流側に見える青い2連のアーチ橋（鋼ローゼ橋という形式）が、中原街道の丸子橋です。この橋は、1934年（昭和9）に建設されました。「中原」という名称は、川崎市の区の名前になっていますが、元来は平塚市内の地名です。

その背景は、平塚市中原に徳川家康が建てた御殿があり、歴代将軍がそこに通った街道であることから、中原街道と言われたことに拠ります。

丸子橋ができるまでは、丸子の渡しがあって、兩岸の自治体などが、春夏は船により、水量の少ない秋冬は仮橋を設け、料金を徴収して運営していました。

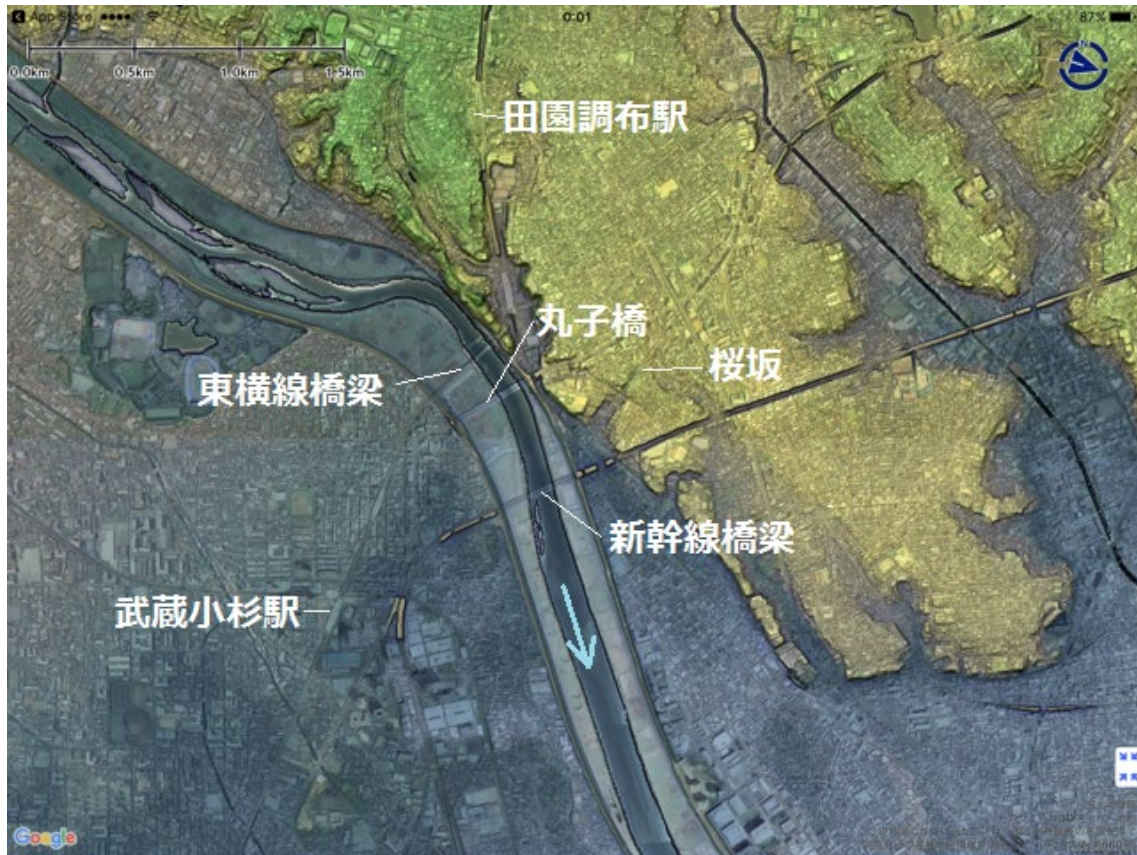
丸子の渡しに通じていた大田区田園調布側の旧中原街道は、少し下り坂になっていて桜坂と名付けられています。福山雅晴が歌った「桜坂」の舞台です。そして、旧中原街道と多摩川の接点近くに、国土交通省京浜河川事務所の田園調布出張所が立地しています。

対岸の川崎市側は、タワーマンションが立ち並ぶ武蔵小杉であり、最新のライフスタイルを提供しています。首都圏でも有数の人気の街です。きっと、次の流行や文化を創出していくことでしょう。

なお、現在の丸子橋は、2000年（平成12）に架け替えられたものです。2002年（平成14）には、丸子橋北詰付近にアザラシのタマちゃんが出現し、マスコミで取り上げられました。

写真は、①位置図（カシミール3Dスーパー地形データ+航空写真に細見加筆）、②丸子の渡し（大正10年、「写真が語る沿線」HP掲載写真、提供者山本五郎）、③旧丸子橋（「田園調布の写真集」HP掲載写真）、④丸子橋（細見撮影）、⑤桜坂（細見撮影）

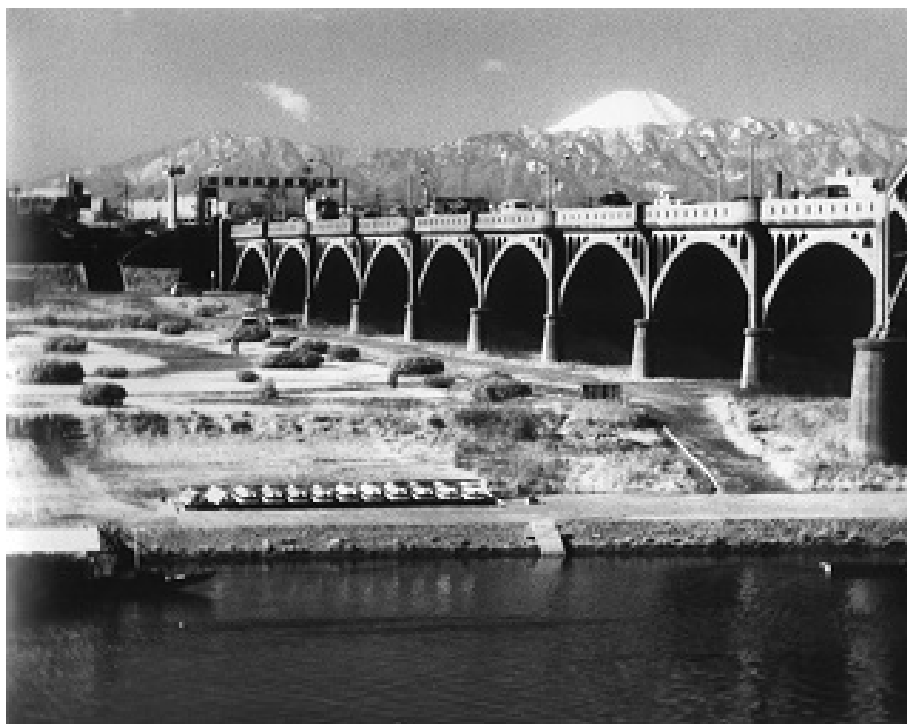
①



②



③



④



④

